

# 生活単元学習 ～学校から地域へ情報発信「学校と地域を結ぶ」～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働活動
埼玉県立 本庄特別支援学校	本庄特別支援学校学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 0名 0名	本庄特別支援学校 地域学校協働活動



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

特別支援学校の取組や特別支援教育への理解が不十分であるため、地域への情報発信に力点を置き、取り組んでいる。また、学校と地域が情報交換を行う場の設定を行い、地域の幼稚園や小中学校の先生方にも、発達が気になる子供の支援に主体的に取り組んでもらうための環境づくりも進めている。

### 目標や目指す姿(学校)

「自立と社会参加を目指し、障害の特性や教育的ニーズに応じた教育を推進する学校」「地域に信頼される特別支援教育のセンターとしての取組を推進する学校」

### 目標や目指す姿(地域)

「みんなが輝く共生のまち 本庄」の実現  
相互に人格や個性を認め、尊重できる社会の形成



## 本庄特別支援学校学校運営協議会 の特徴

### 委員の立場や属性等

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 本庄市教育委員会        | <input type="checkbox"/> 北泉公民館長 |
| <input type="checkbox"/> 山村学園短期大学        | <input type="checkbox"/> 民生委員   |
| <input type="checkbox"/> 埼玉グランドホテル本庄総支配人 | <input type="checkbox"/> PTA会長  |
| <input type="checkbox"/> 本庄市栗橋地区自治会長     | など、計 <b>10</b> 名で構成             |
| <input type="checkbox"/> 本庄市商工会議所専務      | 年間平均 <b>3</b> 回程度開催             |

### 効果的な運営の工夫

学校運営協議会の全体会を行うだけでなく、分科会として4つのワーキンググループを設置し、各ワーキンググループに設定されたテーマと深く関係する学校職員(主に企画委員)が加わり、教育活動等として実現可能なものとなるよう、取組の実効性を高めた。学校運営協議会で協議された内容は企画委員会で共有され、分掌や学部等でも更なる検討が行われる流れができています。校内での検討結果は、その後の学校運営協議会でフィードバックされ、委員の参画を高めさせている。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 学校運営協議会

学校運営協議会における熟議で、特別支援教育の理解啓発等のため、特別支援学校の取組を情報発信することが課題として取り上げられた。そのため、特別支援学校の特性を踏まえ、児童生徒が学校外で活動するとともに、児童生徒の成果物を展示・販売することが、課題解決につながることを話し合った。



生徒との交流

### 地域学校協働活動

委員がコーディネートし、生活単元学習としてヒマワリの種まき(中学部)や成果物の展示、公民館各種クラブと協働した体験活動を実施した。地域の声で児童生徒の自己有用感の醸成につながるような取組を推進した。実施に当たり、公民館や企業、市役所等が連携した。



ヒマワリの種まき

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

コミュニティ・スクールの意義や実際の活動の様子、話し合いの内容を周知するため、「本庄メインストリート」と名付けた廊下に、コミュニティ・スクールの展示コーナーを設置している。学校に訪問する方と、取組のイメージを共有できるようにしている。学校運営協議会での話し合いの場として、学校職員と少人数で編成するワーキンググループ(分科会)を設置し、設定した各テーマ(課題)の下、学校と地域の現状を密に確認し、活動として実現可能な協議となるようにしている。

## 取組

## 成果・効果

### 〔参画する地域の方の声〕

- ◆学校と地域の架け橋づくりのために始まった取組であり、生徒の成長や地域の活性化につながり、取り組んで良かった。
- ◆子供たちの働きぶり(ヒマワリの種まき、落ち葉ひろい、テント張り等)を見て、市民の方々から「嬉しい・ありがとう」の言葉を聞いた。生徒の自己有用感が醸成されたと思う。
- ◆協働して種まきしたヒマワリの花により、市民の心を和ませてくれると期待している。
- ◆学校で制作した木工製品(踏み台・ベンチ等)を公民館に置き、頒布活動をすると、多くの地域の方が喜んでくれた。その取組が縁となり、令和4年度は、本庄市の小学生向けのサマーチャレンジの一環として、学校とコラボでベンチ作りを行い、好評を得ることができた。
- ◆公民館の玄関には小学部が授業で制作した作品(図画・工作)が展示されているが、地域の方に非常に好評で、たくさんの方が観ている。明るい作品が多く、気持ちの良い空間が保たれている。学校の知名度も向上している。
- ◆本庄市役所には、学校との様々な取組等を話しており、特別支援学校の発信や行政との繋がりもできている。

### 〔学校の声〕

- ◆コミュニティ・スクールを推進することが、特別支援学校の理解啓発に繋がるとともに、特別支援教育の発展にも寄与すると考える。